


## ～非公開の戦争遺構をデジタル技術で体験～

# 八幡山「特殊地下壕」のバーチャルツアーを公開しました！

うつのみや歴史・文化デジタルミュージアムでは、昭和20年に宇都宮空襲があった、7月12日の「宇都宮平和の日」を前に、第二次世界大戦末期に陸軍が建設を進めていた「特殊地下壕」のバーチャルツアーを公開しました。特殊地下壕の中を、解説を見ながら探索できます。

<p>公開日</p> <p>URL</p>	<p>令和8年7月1日（水曜日）～</p> <p>URL : <a href="https://my.matterport.com/show/?m=zzGYZH7L7Q9">https://my.matterport.com/show/?m=zzGYZH7L7Q9</a></p>  <p>デジタルミュージアム「特殊地下壕」ページ</p>
<p>「特殊地下壕」について</p>	<p>第二次世界大戦末期の1945（昭和20）年、陸軍が空襲と本土決戦に備え、八幡山公園内に建設を進めていたのが特殊地下壕です。</p> <p>総勢250人ほどが作業にあたり、24時間3交代の突貫態勢で進められました。約2か月間で、出入り口11ヶ所、総延長721mにおよぶ横穴を掘り上げました。終戦時には未完成で実際に司令部として使われることはありませんでしたが、戦争の悲惨さと平和の大切さを語り継ぐものとして、現在もひっそりとその姿をとどめています。</p> <p>※崩落の危険性があるため、現在は公開していません。</p>



うつのみや  
歴史・文化デジタルミュージアム

## 特殊地下壕 公開イメージ

特殊地下壕のうち、約120mをバーチャル化しています。



▲ 入口



▲ 内部

足元のボタンをクリックすると進みます

オレンジ色のボタンをクリックすると解説を表示